



感染症(コロナ・インフル) 増加の兆しあり

新型コロナウイルスが5類になって久しいですが、大曲仙北管内では、こども園から高

	8/28-9/2	9/4-9/9
ブロック	報告数	報告数
大曲ブロック	188例	142例
西部ブロック	51例	41例
角館ブロック	84例	111例
美郷ブロック	20例	17例

等学校まで全ての校種で感染の増加傾向が見られます(表:学校保健会調べ)。特に、角館ブロックの増加が顕著です。

本校も例外ではなく、感染が継続的に見られます。今週末からは新人戦が始まります(～24日)。感染したため大会に参加できない事態にならないよう、みんなで注意していきたいものです。学校では、感染拡大防止に向け授業や給食時で形態等を工夫しています。また、マスク着用も推奨しているところです。

こうした状況をご理解いただき、ご家庭でのご協力よろしくお願いたします。不明な点等ございましたら学校までお問い合わせください。

明日 新人戦激励会

9月1日付全戸配布体育文化後援会報です。すでに各部の組み合わせをお知らせしていますが、いよいよ今週末のソフトテニス大会を皮切りに新人戦がスタートします。



大会を前に、明日激励会を実施します。今大会では、野球部とバレーボール部は生保内中学校との合同チームとして出場します。各部の参加人数は決して多くはありませんが、精一杯戦ってきます。そんな後輩たちに、先輩たちが中心となり激励し、勇気を授けます。

開始時刻は、13時40分です。ご都合の付く方は、是非お越しください。

※写真は昨年度の様子です。

熊出没に注意を!

秋田県内では、連日熊との遭遇や人的被害等が報告されています。

仙北市でも安心情報メールを通じて、熊出没情報等が毎日届いています。本学区でも例外ではなく、住宅地や通学路等での目撃が報告されており、十分な注意が必要です。



一般的な対応は次のとおりです。(島根県津江市HPより)

熊との距離が離れている場合(100m)

熊がこちらに気付いていない場合は、気付かれないように、クマを見ながら静かに避難してください。

熊が近付いてきている

熊は、人であることを認識すると基本的にその場から立ち去ることが多いです。人の方に近付いている場合は、こちらが人であると認識していない可能性があります。こちらが人であると理解させるために、大きく腕を振りながら穏やかに声をかけてください。

人だと認識しても近付いてきている

非常に稀なケースですが、上記の行動をとっても逃げない時があります。これは、熊がこちらを捕食目的として考えて近付いている可能性が高いです。すぐに避難できる場所があればそこへ退避してください。近くに退避場所がなく、逃げ場もない場合には、高い場所に立ち、自分を大きく見せて大きな声や音を出して威嚇して裏面に続く

ください。2人以上いる場合は、必ずまとまって行動してください。

熊と突発的に遭遇した場合（20～50m）

あわてずに、ゆっくりと両腕を大きく振りながら、穏やかに声をかけてください。突進に備えて、熊との間に障害物（立木など）が来るように静かに移動してください。

熊がこちらを無視している場合

上記の行動に加えて、熊から目を離さずにゆっくり離れてください。急な動きは熊を興奮させてしまいます。また、逆にこちらが動かないでいると、敵だと判断されて襲われる危険性が高くなります。

クマが目の前にいるときに遭遇した場合（20m以内）

驚いて突発的に走って逃げたり、大声で怒鳴ったりすると、熊は防衛的な攻撃をします。熊も人を恐れているため、更に怯えさせるとストレスのあまり暴走してしまいます。

静かに、落ち着いて両手を大きく振りながら退避してください。熊を見て、穏やかに声をかけながら後ずさりしてください。

クマが突進してきた場合

威嚇突進の場合

突進の多くは、威嚇のための突進で、途中で止まって後退する場合があります。この場合、穏やかに声をかけながら、熊との間に障害物を置くようにゆっくり後退してください。

本当の突進の場合

突進が止まらず、3～5mの位置まで接近してきた場合、熊撃退用スプレーを熊の顔に全量を一気に噴射してください。スプレーが効かない、またはスプレーがない場合、その場に倒れこんで防御態勢をとってください。

襲われたときの防御態勢

熊から攻撃を受けそうになったら、受けるケガを最小限に抑えることが重要です。

首の後ろに両手を回し、うつぶせになってください。首、顔、腹部の急所を守るために方法です。

リュックサック等を背負っている場合は、背負ったままでいるとプロテクターの代わりになります。

転がされても元の姿勢に戻ってください。